

日比谷アメニスグループ ワークライフバランス実現に向けた取り組み

日比谷アメニスグループでは、多様な価値観を持った社員の多様な働きかたに対応するべく、様々な取り組みに力を入れています。

ワークライフバランスの実現に向けて、施工や公園管理をはじめとしたさまざまな業務内容やあらゆる雇用形態に合わせ、以下のような活動を推進しています。

日比谷アメニスグループの取り組み

ワークライフバランスに関する 取り組みの推進

日比谷アメニスグループでは、近年ワークライフバランスの改善に向けた取り組みに力を入れてきており、業務効率化の施策検討や情報提供を行うほか、社内の制度説明なども実施してきました。現在は、全社的に働き方改革を推進するプロジェクトを設置し、多くの社員の意見を取り入れながら取り組みを推進しています。

男性育休取得と取得時の調整・フォロー

男性の育休取得については成果が出始めています。前期（2021年9月～翌年10月）の男性育休取得率は70%となり（2021年度全国平均は13.97%）、さらに取得者のうちの7割が1ヶ月以上の期間で取得しています。多くが工事や植栽管理の現場監督を担当する社員で、所属部門長は現場の引継ぎや物件の分担計画を立て、現場に支障が出ないようにしています。フォローする側の社員の負担にも配慮し、週1回のミーティングでの調整も行われます。今後も業務を属人化せず業務内容を共有することで

家庭と仕事を両立できる職場を目指します。



家族とのかけがえのない時間を過ごすことができる育休。今後も希望する社員が育休を取得できる環境づくりを進めていきます！

グループ各社の取り組み

太陽スポーツ施設株式会社

社員の「健幸」を第一にビジョン会議の発足

これまでトップダウンであった組織創りを、社員によるボトムアップスタイルで行うことで、求心力をもったポジティブな組織創りを始めました。積極的な社員意見交換の場をビジョン会議と名付け、これまでに意見集約や企業理念の再構築、社内インフラの整備などを行ってきました。社員が心身ともに健やかで幸せな状態であること、すなわち「健幸」の追求をしていきます。

ライフの面も含め社員が興味のあることを仕事に

ビジョン会議では新規事業についても意見交換がなされており、ライフの面も含め社員の興味のあることを業務に関連づけることが結果的に会社を盛り上げていくのではないかと期待があります。その考えが徐々に浸透し、最近ではボルダリングを趣味にしている社員の協力のもと、実際にボルダリングウォールの設計に携わり、円滑な施工に結びつけることができました。現状マーケットから新規事業を模索することはもちろん重要ですが、社員の思いを中心に事業構想を展開していくこともまた大切な事だと思えます。

北部緑地株式会社

みんなで進める働き方改革「現場カイゼン会議」

北部緑地では働き方改革の一環として、関わる社員の多い公共工事の業務改善や生産性向上を目的とした「現場カイゼン会議」を毎月実施しています。書類作成の効率化や積算・設計変更時のノウハウなど、業務上の知恵を共有するほか、電子黒板や遠隔臨場などの生産性を高める新しい手法の情報も共有します。リサイクル・紙の使用量削減などの環境配慮について話し合う事もあり、様々な角度から建設現場の業務の「カイゼン」を図っています。

夢や伝えたいことを語り合う「北部Café」

「現場カイゼン会議」のほか、社員同士が自由に語り合う場である「北部Café」も月に1回行われています。ここでは仕事の話ではなく、自分の夢や、生活の中で見つけた伝えたいことなどが自由に語り合われます。社員の意外なプライベートや、自分の生活に役立つ情報を知るなど、ライフの面での効果があるだけでなく、会社での居心地がよくなる、社員同士の連帯感が高まるなど、ワークの面にも好影響を与えています。



社員1人1人が健幸に仕事ができるような組織創りが必要。ビジョン会議を通して会社に変化をもたらそう！



現場事務所では社員が集まる現場カイゼン会議（上）、社外のオープンスペース（写真はARAKAWA_i_VILLAGE）で開かれる北部Café（下）